

胃カメラ・大腸内視鏡は今年も受けます。
でも、それだけで足りますか？

M R I 上腹部検査

MEDICAL SCANNING
メディカルスキャンニング
www.medicalscanning.net

たしかな検査、たしかな結果

MEDICAL SCANNING
メディカルスキャンニング

上腹部検査について。



大腸内視鏡検査と、胃カメラはすでに定期的な検診を心がけている人が増えてきました。

しかし、本当にそれだけで安心ですか？

沈黙の臓器といわれているすい臓、肝臓、胆のう。

これらの臓器は、がんになってもほとんど症状がないまま進行していきます。

特にすい臓がんは罹患率と死亡率がほぼ等しく、気づいたときにはすでに遅く治療ができないのが現状です。

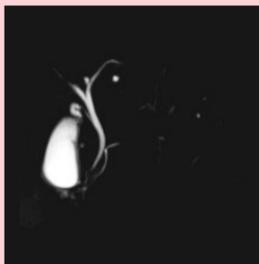
大腸や胃だけでなく、消化を助ける大切な臓器。

治療が可能な段階で見つかっていれば。

そう思う前に、定期的な上腹部の検査を受けませんか？

自分のからだを、自分の人生を想うなら、
ぜひ、MRI上腹部検査を。

MRI検査+MRCP検査 メディカルスキニングの検査は 他とは違います。



1テスラMRIで撮影したMRCP画像



3テスラMRIで撮影したMRCP画像

症状がないまま進行し、気づいたら治療ができない状態に。
クオリティの高い検査機器とエンジニアのスキル
メディカルスキニングの上腹部検査にお任せください。

メディカルスキニングのMRI上腹部検査にはMRCP検査が含まれます*。

*他の施設では、オプション料金でMRCP検査をプラスして行っている場合があります。

確実に、身体に負担のない検査を。

MRI上腹部検査は肝臓、胆のう、すい臓をメインに撮影を行います。すい臓は形が薄い臓器なので、MRI検査だけでは不十分といえます。MRCP検査は、すい管と胆管を同時に非侵襲的に撮像することができるので、確実な診断に有用です。また、奥深くにあるすい臓は超音波の検査だと、他の臓器や腸のガスが邪魔をして観察しにくく、発見がおくれる可能性があります。メディカルスキニングは、最新鋭のMRI機器*と技師のクオリティの高さで、見つかりづらい初期段階のがんも見逃さず早期発見に努めます。

MRCP

magnetic
resonance
cholangiopancreatography
MR胆管、すい管撮影

胆管がん、すい臓がん、慢性膵炎を発見するのに有効。

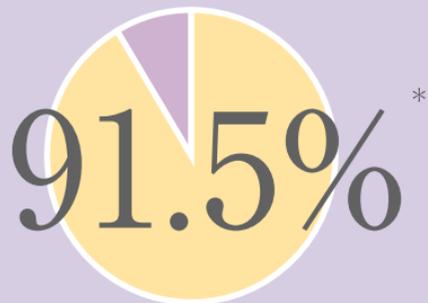
造影剤を使用せずに検査が可能。

多方向、様々な厚さの画像情報が得られる。

内視鏡検査と違い苦しくありません。

*各クリニックの設備機器についてはお問い合わせください。

早期発見ができれば
治療が可能になります。



すい臓がんにかかった人の死亡率

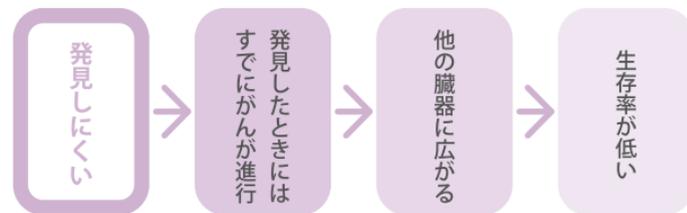
罹患率と死亡率がほとんどかわらないすい臓がん
原因は発見が遅れること。
一般的なX線検査や超音波検査では見落とされがちです。
確実な検査が命を救います。

*参考：国立がん研究センターがん情報サービス「がんの統計 2023」5年生存率より

発見しにくい病気だから、いつの間にか進行。

すい臓は身体の真ん中にあり、胃、十二指腸、小腸、大腸、胆のう、肝臓などに囲まれているので、がんが発生しても見つけるのが非常に困難です。また、早い段階では特徴的な症状がないため、すい臓がんとわかったときにはすでに手遅れということが多いためです。約8割の人が手術を行わず延命治療というのが実状です。

*参考文献：横山泉(2015)「肝臓・胆のう・すい臓の病気をよくする生活読本」

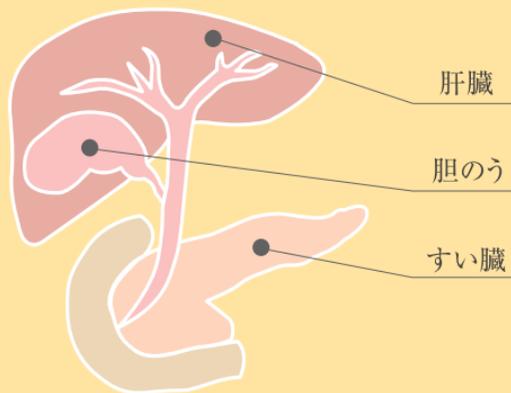


歯牙欠損や歯周病がすい臓がんのリスクを高める？

最近では、歯牙欠損や歯周病がすい臓がんのリスクを高めるという研究がされています。米ハーバード大学公衆衛生学部疫学助教授のDominique S. Michaud氏らの研究で歯周病の男性は、そうでない男性に比較してすい臓がんリスクが64%高いことが明らかになったと発表しています。

*米医学誌「Journal of the National Cancer Institute」1月17日号 Dominique Michaud, SC.D.

肝臓・胆のう・すい臓は ひとつのチーム

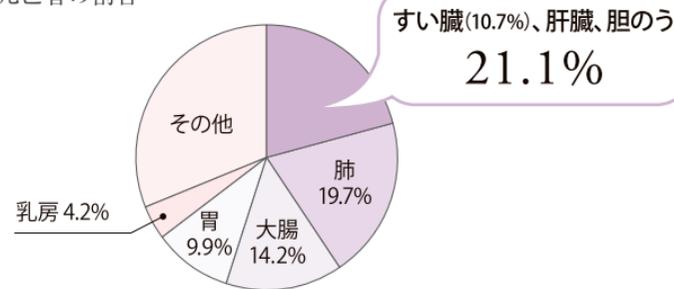


肝臓・胆のう・すい臓は食物の消化を行うために共に働きます。
ひとつながりの3つの臓器は、病気の発症や経過においても、
互いに影響し合っていることが少なくありません。
食生活の欧米化に伴い、リスクが増加しています。

上腹部全体は、がんの死亡率で1位。

上腹部全体は、死亡率の高い肺がん、胃がん、大腸がんを抜いて1位。
早期発見が難しい上腹部は、治療ができず死亡率が高いというのが現状です。

臓器別がんの死亡者の割合



*厚生労働省:令和6年人口動態統計(第9表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率-人口10万対)

せっかく大腸がんと胃がんを治療したのなら。

大腸がんや胃がんの手術を受けて、やっとうがんを克服した。そう思っていたのにすい臓がんや肝臓がん、胆のうがんになってしまったのでは台無しです。肝臓・胆のう・すい臓はチームワークで消化を助けるとても大事な臓器です。内視鏡検査や胃カメラはもちろん、上腹部検査も忘れず、定期的な検診を心がけてください。

大切なのは定期的な検診と早期発見。

上腹部の病気は、生活習慣の変化に伴い増加傾向にあります。しかしながら、自覚症状があまりないため発見が遅れて手術ができない状態まで進行していることがしばしばあります。危険因子を早期発見することで、能力のある肝臓はもとの肝臓に戻ります。開腹手術をしなければならないものも、早期発見なら内視鏡や腹腔鏡などの身体に負担のかからない治療も可能になります。

特にMRI上腹部検査を受けてほしい方

- 糖尿病である
- 過去にすい臓の病変を指摘された方
- 歯牙欠損や歯周病がある
- 高齢者
- タバコを吸う
- 大腸がんや胃がんの手術を受けた方
- お酒をたくさん飲む
- 家族や親戚に、肝臓がん、胆のうがん、すい臓がんの病歴がある人がいる
- コレステロール値が高い

その症状、本当に
糖尿病だけですか？

すい臓がんの症状は、糖尿病の症状に似ています。

すい臓がんを診断される前に

糖尿病が発症しているケースが多いことがわかっています。

糖尿病と診断されたのなら、すい臓がんの検査を。

すい臓がんの患者さんの約半数に糖尿病の合併がみられます。

見つけづらいからこそ 確実な検査を。

MRI検査とMRCP検査の両方で検診を行います。

寝ているだけの簡単な検査です。
(バリウム検査のような検査ではありません。)

圧倒的に多い症例数が、検査技術の高さを保証します。

解像度の高い最新鋭^{*}のMRIで検査します。

最寄りのメディカルスキャンニングで過去の画像を参照しての診断が可能です。

万が一のときも安心。適切な治療施設をご紹介します。

メディカルスキャニングならではの

「たしかさ」。

Quality 最新鋭の機器、専門^{*1}の技師による検査

Exact 検査結果を専門医^{*2}が的確に診断

Follow 万一の際は適切な病院をご紹介します

メディカルスキャニングは、より入念な健康チェックを受けたい方や専門的な検査を受けたい方のための、最新鋭のMRI、CTを使った画像検査・診断を行うクリニック及びネットワークです。主要な大学病院、基幹病院から検査・診断を受けている実績と信頼性による安心感と、世界的な学会^{*3}でも演題に採用される高水準の環境のもと医療サービスをご提供します。迅速で質の高い検査・診断により、受診者の視点を大切にした最適な医療の普及に貢献しています。

*1 厚生労働省 診療放射線技師

*2 公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線科専門医

*3 RSNA (北米放射線学会)



ご予約から結果が出るまで

1 ご予約 完全予約制です。当院の受付に直接お越しいただくか、お電話にてご予約ください。地図や検査時の注意事項を記載した「検査のご案内」を送付します。



2 検査 リラックス状態で検査を受けていただくために、ご予約時間の10分前にご来院ください。完全予約制のため、遅れる場合は事前にご連絡ください。当日までに「検査のご案内」をご覧ください。また、健康保険証をご持参ください。



3 結果 専門医がダブルチェックで画像診断し、当日、検査画像の入ったCD-Rをお持ち帰りいただき、後日報告書を送付します。また、万一の際は、医療連携数年間約70万件のネットワークをいかし、ケースに応じて適切な病院をご紹介します。



お問合せ・ご予約(共通)

03-5778-2905